

中部学院の旬の話題をお届けする



中部学院大学報

Chubu Gakuin University & College News

2019
vol. 42

特集①

中部学院×地域×スポーツ

特集②

国家試験対策&公務員試験対策

特集③

せき親善大使 小沢実莉さんインタビュー

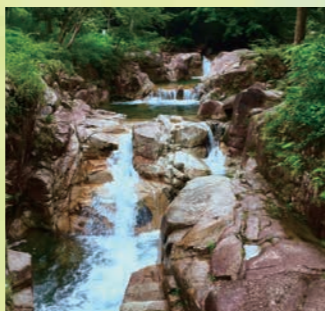
12月19日(木)

クリスマス礼拝・祝会開催(関キャンパス)

3月20日(金)

卒業式挙行(岐阜市・長良川国際会議場)





美・デザインコース

社会福祉学科

関市の魅力を写真&動画で発信

関市観光協会ならびに関市観光課と連携協定を締結している一環として、短期大学部社会福祉学科の美・デザインコース「SNS活用論」とコラボレーションし、関市の観光地をPRするための写真や動画の撮影を行いました。

Instagramで印象に残る写真の撮り方や動画の構成などを学んだ学生16人は6月22日、3グループに分かれ、モネの池や小瀬鵜飼など関市内の観光地をフィールドワーク。

その後、撮りためた動画や写真を加工しながら、作品づくりを手掛け、美の感性を加えていきました。

写真や動画は、関市観光協会のInstagramなどで公開される予定です！

特集① 04 中部学院×地域×スポーツ

障がい者スポーツ 地域スポーツクラブ ほか

特集② 06 中部学院の国家試験対策&公務員試験対策

「医療」「福祉」「教育」各分野での取り組み

特集③ 08 せき親善大使として関の魅力をアピール

教育学部 小沢実莉さん インタビュー

10 保護者の皆さまへ

後援会総会・保護者懇談会を開催

12 部・クラブ・サークル紹介

<ピックアップ> 女子バレーボール部
空手道部 ゴルフ部 陸上競技部 吹奏楽部 剣道部 ソフトテニス部
国体出場選手紹介

14 トピックス

岐阜市と包括協定 各務原国際協会とコラボレーション ほか

15 講演会など

現代マネジメント研究、現代福祉マネジメント研究 ほか



表紙/ジャパンパラ陸上競技大会で力走する高柳優選手=岐阜市、長良川競技場

中部学院大学報
2019 vol. 42
2019年10月発行

Chubu Gakuin
University & College News
CONTENTS

〈発行:大学報編集委員会〉

地元プロサッカーチームと連携

FC岐阜×中部学院大学



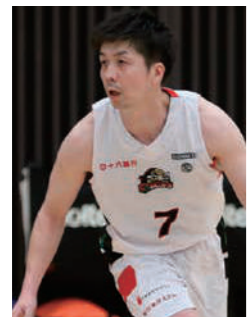
報告会ランチミーティングで意見交流。FC岐阜の宮田博之社長をはじめ、スタッフの皆さんと情報交換しました。

スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科では、県内の市町村をホームタウンとする日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)に加盟するプロサッカークラブ「FC岐阜」と連携し、試合の運営補助やインターンシップ、調査や研修など、さまざまな取り組みを進めています。

昨年度は、同学科の柿島ゼミ(同学科講師・柿島新太郎氏)の学生が、若者に向けた集客アプローチプロジェクトに参加。SNSを活用しながら、10代のFC岐阜ファンをどのように増やしていくかを考えました。

地元プロバスケットボールチームで卒業生が活躍

岐阜スワップス×中部学院大学



人間福祉学部の卒業生、曾我嘉宏選手



人間福祉学部の卒業生、杉本憲男選手

岐阜市を本拠地として、B3.LEAGUEに所属するプロバスケットボールチーム「岐阜スワップス(GIFU SWOOPS)」で、2人の卒業生がプレーしています。FWの曾我嘉宏選手(2005年度人間福祉学部卒業)とガードの杉本憲男選手(2006年度人間福祉学部卒業)。曾我選手は「私たちにできることはスポーツの楽しさを伝えること。チームワークや勝つ喜び、負ける悔しさ知ってもらい、一緒に成長していきたい。岐阜県のさまざまな地域に出向き、その思いを伝えていきたい」、杉本選手は「一人でも多くの方にエンターテインメント性の高いプロの試合を見ていただき、愛してもらうことが必要と感じています。子どもたちのあこがれの存在となることで、夢と希望を与えていきたい」と話しています。

硬式野球部 野球教室

児童に攻守の基本を伝える

硬式野球部は毎年、県内の小学生を対象にした野球教室を開催しています。教室は、スポーツ少年団の指導者でつくる「少年勇気倶楽部」が企画。今年2月の教室には、県内の小学生約250人が参加しました。部員約100人が見本を披露し、バッティングや走塁、内外野の連携などの指導を行うなど、野球の基本動作を伝えました。



野球教室で小学生に野球の基本動作を伝える硬式野球部員=関市、桐ヶ丘球場(写真提供・岐阜新聞)

女子バレーボール部 バレーボールスクール

各務原市の小学生に指導

女子バレーボール部は、各務原市バレーボール協会が主催する「バレーボールスクール」で小学生を指導しています。スクールは、同市内に在住の小学3年生から6年生が対象。毎月第1、第3金曜日を中心に、約2時間練習を行っています。年間20回開催しているうち、約2回、バレーボール部員と一緒に、指導を行っています。



小学生に指導する女子バレーボール部員=各務原市、桜体育館

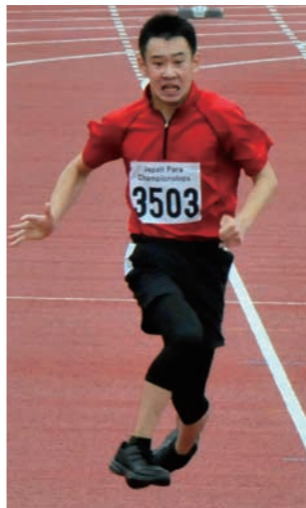
19 ジャパンパラ陸上競技大会



特集①

中部学院×地域×スポーツ

中部学院大学は、2017年度にスポーツ健康科学部を新設し、健康、障がい者、経営の視点から、地域で活躍する人材の育成に努めています。また、硬式野球部、ゴルフ部、陸上競技部、空手道部など、全国で活躍する部活動があり、地域で活動するジュニア選手の指導にも携わっています。今年度からは「中部学院大学スポーツカレッジ」を開校し、スポーツを通じて、地域との関わりを深めています。



ジャパンパラT35・100mに出場し、自己ベストを更新した陸上競技部の高柳優選手=岐阜市、長良川競技場

障がい者スポーツ ジャパンパラ 岐阜で開催 高柳選手(人間福祉)が快走

陸上のジャパンパラ競技大会が7月20、21の両日、岐阜市の長良川競技場で行われました。人間福祉学部3年の高柳優選手(三重津田学園高校出身)がT35・100mに出場し、自己ベストを1秒以上更新する快走を見せました。

また、この日は障がい者スポーツを勉強している学生や教職員、家族も駆け付け、応援しました。また、この日は障がい者スポーツを勉強している学生や教職員、家族も駆け付け、応援しました。



障がい者スポーツを勉強している学生や教職員、家族も駆け付け、応援しました=同

チャレンジ・キッズ体育教室

シティカレッジ関では、障がいのある子どもたちのための運動プログラム「チャレンジ・キッズ体操教室」を開催しています。講師は、日本やアメリカで長年、障がい児の体育・スポーツ指導に従事してきたスポーツ健康科学部助教の後藤健太氏。障がいのある子どもたちの多くは、上手に身体を動かすことが苦手だったり、十分身体を動かす機会が得られなかったりします。大学生のスタッフと共に、「走る」「投げる」などの基本的な動きや「マット」「跳び箱」など学校体育につながる運動を専門的に指導しています。そのほか、「車いすバスケ」や「シッティングバレー」など、身体に障がいのある子どもと一緒に楽しめるスポーツも行っています。本年度後期からは、中部学院大学スポーツカレッジの講座として開講します。



チャレンジ・キッズ体育教室の様子より

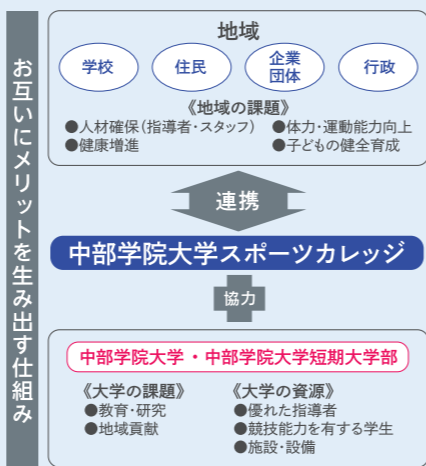
中部学院大学スポーツカレッジ 10月から本格的にスタート!

本学を拠点とした総合型地域スポーツクラブ「中部学院大学スポーツカレッジ」が今秋から本格的にスタートします。

このスポーツカレッジは、学生や指導者、研究者、施設などのスポーツ資源を有する大学と地域が共に連携することにより、地域の活性化や教育力の向上を図ることを目的としています。

同カレッジの特徴の一つは、本学の優秀な指導者や学生らが直接指導することです。参加者は高度のスポーツ技術を学ぶことができ、学生にとっても、子どもたちや地域住民との交流を通して、コミュニケーション能力や指導方法、リスク管理を学ぶ機会となります。スポーツによる人づくりを通して、地域社会により一層貢献していきます。

10月19日にはキックオフイベントとして、「スポーツフェスティバル」を開催します。



バルシューレ教室など開講 地域行事で体力健康測定も実施

具体的な講座の一つとして、子どもたちのためのボール教室「バルシューレ」があります(写真)。ボールを使ったさまざまな運動を体験しながら、ボール運動の基本を自然に身に付けます。「運動協調性(身のこなし)」を習得する機会にもつながります。障がいのある子どもたちのための運動プログラム「チャレンジ・キッズ体育教室」などもあります。バスケットボール部やゴルフ部の部員らによる子ども向けの教室も開講を予定しています。

そのほか、指導者派遣では、各務原市バレーボール協会が主催しているスポーツスクール「スマイルバレーボール」で、男子・女子バレーボール部員が小学生の初心者に指導したり、スポーツ健康科学部の教授や学生が地域のイベントで体力健康測定を行ったりします。

2019年度後期教室(案)

- バルシューレ(未就学児クラス、小学生クラス)
- チャレンジ・キッズ体育教室
- バスケットボール教室
- ゴルフ教室

2019年度後期指導者派遣(案)

- スマイルバレーボール(各務原市バレーボール協会)
- 上之保ふれあい祭り=体力健康測定(上之保ほほえみスポーツクラブ)
- 美濃市産業祭=体力健康測定(美濃市教育委員会)

【お問い合わせ】

中部学院大学 スポーツカレッジ 事務局
電話 0575-29-3003

中部学院で目指す国家資格など

医療 (リハビリ)

理学療法士

(看護リハビリテーション学部理学療法学科)

【試験】2月 【合格発表】3月

大学 理学療法学科

4年次9月から本格的な国家試験対策を始めます。グループ学習をメインに、過去10年間の問題を主に解きながら、模擬テストや業者模試で実力を試す—というのを繰り返し、実力を付けていきます。テストや模試で不正解だった箇所や完全に理解できていない箇所を徹底的に勉強します。さらに分からないところは、ゼミごとのグループ学習を通じて、みんなで分担して調べ、結果を持ち寄り、説明し合いながら、理解を深めています。

福祉

社会福祉士

(人間福祉学部/教育学部)

精神保健福祉士

(人間福祉学部)

介護福祉士

(人間福祉学部/短期大学部社会福祉学科)

【試験】1月下旬あるいは2月上旬
【合格発表】3月下旬

大学 人間福祉学科

3年次後期より対策講座を開講しています。4年次には問題演習を中心に、模擬試験や集中勉強会を通して理解度の確認と弱点の克服に努めます。試験直前には直前対策勉強会で万全を期し、全員合格を目指します。

短期大学部 社会福祉学科

実技系科目授業は少人数のグループ学習、個人に応じた目標設定と教員による事後評価を行います。また、個人の学習の進み具合を教員が確認できるように、学科の教員が作成した国家試験対策教材を活用しています。

教育

小学・中学・高校 教諭

(教育学部ほか)

幼稚園教諭

(教育学部/短期大学部幼児教育学科)

保育士

(教育学部/短期大学部幼児教育学科)

※教員免許の場合
【採用試験】7月 【合格発表】10月

大学 子ども教育学科

教職センターには、経験豊かなスタッフが常駐しています。教員採用試験の内容や勉強法、過去の問題集の難問についての解説、採用試験関連の資料や情報の提供、3年次の教育実習ノウハウまでサポートしています。

短期大学部 幼児教育学科

子どもの豊かな五感を育むことのできる保育者を目指し、音楽や造形表現などに力を入れたカリキュラムが特徴的です。実習や施設訪問、地域交流など学外での活動にも積極的に参加し、実践力を高めています。

公務員試験対策

公務員試験や教員試験の合格に特化した試験対策講座を行っています。

2017年度
65名
合格

2018年度
63名
合格

2019年度3月卒業生の主な合格実績

【行政・公安】 岐阜県、岐阜県警察、中濃消防組合、鈴鹿市消防本部、自衛隊

【教育・保育】 岐阜県、川崎市、関市、各務原市、美濃加茂市、本巣市、土岐市、下呂市、豊田市、一宮市、牧之原市、長浜市、池田町、揖斐川町、垂井町

【医療】 愛知県がんセンター中央病院、美濃市立美濃病院、郡上市市民病院、中津川市民病院、小牧市民病院、一宮市立市民病院、一宮市立木曾川市民病院、長野市民病院、飯田市立病院、岐阜県総合医療センター、岐阜県立多治見病院、岐阜県立下呂温泉病院、国立長寿医療研究センター、那智勝浦町温泉病院、長良医療センター、岐阜大学医学部附属病院、三重大学医学部附属病院、京都大学医学部附属病院、名古屋大学医学部附属病院、信州大学医学部附属病院、名古屋市立大学病院 (順不同)



中部学院の国家試験対策

中部学院では、医療、福祉、教育の各分野における国家資格対策、公務員試験対策などに取り組んでいます。

特集②

2年連続 看護師合格率100%
国試対策委員会を中心に意欲的に学習

第108回看護師国家試験(2019年2月実施)において、看護リハビリテーション学部看護学科の2期生全員が合格を果たしました。合格率100%は昨年の1期生に続き2年連続の快挙。学生と教職員が一体となり、全員合格を果たしました。

同学科の国家試験対策の特徴として、2年次から国試対策に取り組み、早い段階から看護師にとって必要不可欠な知識と技術を身に付けられるようにしています。3年次では模擬問題でグループ学習し、問題の解き方を深く学びます。4年次の後期からは「看護学特論」が始まります。各領域の専門教員が要点を伝え、本番に向けて追いつきをかけていきます。また、昨年度からは卒業生を招いたセミナーを3、4年生に行い、試験までの調整法や集中力を切らさないための工夫などに耳を傾けました。

1年次

- ・国試対策ガイダンス
- ・4年間国試対策計画について
- ・Web教材による国試過去問学習

2年次

- ・国試対策ガイダンス
- ・業者模試1回(専門基礎)
- ・業者国試ガイダンス
- ・Web教材による国試過去問学習
- ・看護学特論I

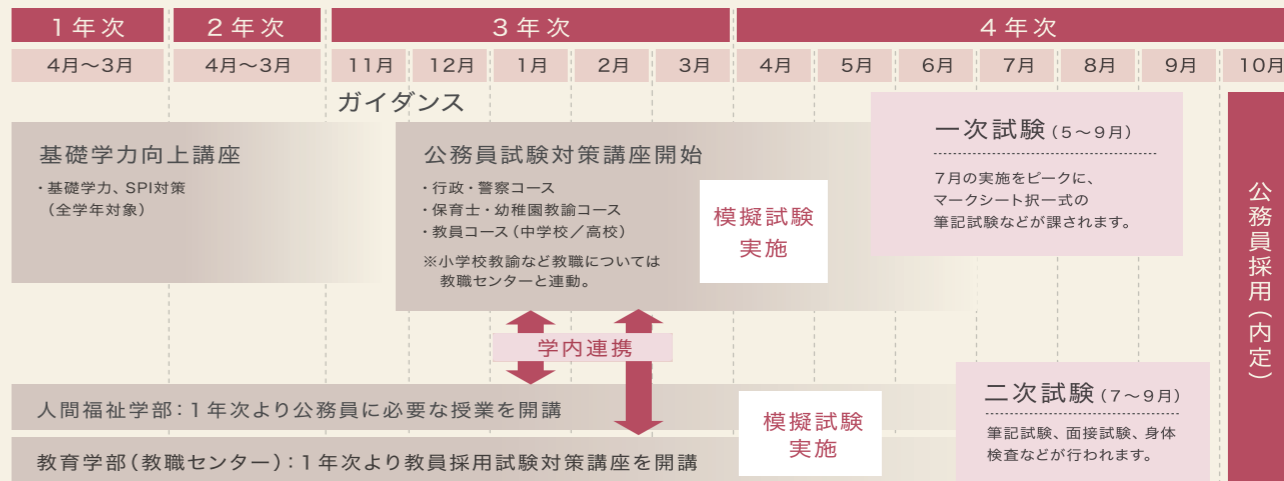
3年次

- ・国試対策ガイダンス
- ・業者模試2回(必修・低学年模試)
- ・実習インターバル対策(問題集実施・Web教材による模試)
- ・Web教材による国試過去問学習
- ・看護学特論II

4年次

- ・国試対策ガイダンス
- ・業者模試看護師(7回)
- ・業者模試保健師(2回)
- ・業者対策講座(解剖生理・疾病論等の専門基礎・国試に出る10大疾患)
- ・Web教材による国試過去問学習
- ・対策が遅れている学生の協同学習
- ・ゼミ教員による国試対策個別支援
- ・看護学特論III
- ・公衆衛生看護学特論(教員による国試対策)

公務員採用までの流れ



公務員採用(内定)

せき親善大使として 関の魅力をアピール

関市の魅力をアピールする「せき親善大使」の一人として、教育学部4年で吹奏楽部(フルート)の小沢実莉さんが、昨年から活動しています。親善大使の取り組みや関の魅力について話を聞きました。

せき親善大使

関市の刃物産業や観光の魅力を市内外にPRします。第12代大使には26人の応募があり、同大使選出委員会の面接審査を経て、小沢さんを含めて3人が選ばれました。任期は2年間。本学の現役学生が大使に選ばれたのは、吹奏楽部員で第11代大使の馬木美里(2017年度人間福祉学部卒、富山商業高校出身)さんに続いて2人目です。

せき親善大使
おざわ のり
小沢 実莉さん

(教育学部子ども教育学科4年/長野・松本第一高校出身)

1997(平成9)年、長野県塩尻市出身。松本第一高校卒業後、本学教育学部子ども教育学科に進学。吹奏楽部に在籍し、フルートを担当。3年次にせき親善大使に選ばれ、これまでに毎年5月に開幕する小瀬鵜飼、8月の関市民花火大会、10月の刃物まつり、東京などで開かれる観光物産展で関市を紹介している。好きな食べ物は桃などのフルーツ。好きな言葉は「ありがとう」。趣味は映画観賞。



「関市の魅力を多くの人に伝えていきたい」と話す「せき親善大使」の小沢実莉さん＝関キャンパス



ラグビーワールドカップに出場する南アフリカ代表の歓迎セレモニーで任務を果たす小沢さん(中央)＝関市役所



吹奏楽部の先輩でもある前任のせき親善大使を務めた馬木美里さん(左)と共に＝関市内



市ふるさと夏まつりで来場した市民と会話する小沢さん＝関市本町



刃物供養祭に参列し紹介する小沢さん＝関鍛冶伝承館

「これまでの「せき親善大使」の活動を振り返っていかがですか。」
小沢 ただキャンパスに通っているだけではわからなかった関市の魅力をいっぱい感じる事ができました。中でも、毎年10月に行われる「刃物まつり」は、刃物の名店が全長1000mの本町に集結する大販売市が魅力です。古式日本刀鍛錬実演なども繰り広げられ、刃物の文化を知る素敵なイベントで、ぜひ足を運んでほしいです。

「関のおすすめスポット、魅力は?」
小沢 食べ物では、うなぎがおすすめです。関市内にはうなぎの名店がいくつもあります。また学生の皆さんには、関市内に在る間に、ぜひ小瀬鵜飼を見て

ほしいと思います。ほかの鵜飼と違って、間近で幻想的な世界を感じることができます。

「将来、親善大使の経験をどのように生かしたいと思っていま

すか?」
小沢 大学卒業後は地元の塩尻市の公立保育園で保育士として歩み出します。親善大使の仕事は、人前に立つことが多かったり、いろいろな人と関わる機会があったりしました。そのおかげで、コミュニケーションの取り方など、「話す力」「聴く力」を養うことができました。保育士の仕事に就いても、子どもたちをはじめ、保護者の皆さんともしっかりとコミュニケーションを図れるように役立てていきたい



大学の古田善伯学長(右)、短期大学の片桐多恵子学長(左)と共に＝関キャンパス

「残りの任期の抱負を聞かせてください。」
小沢 2年目に入り、昨年以上に関の魅力をしっかり伝えられるようになってきました。少しでも関市に恩返しができるように、最後まで全力で取り組んでいきたいです。

後援会総会・保護者懇談会を開催

6月1日(土)、関キャンパスのグレースホールにおいて「2019年度後援会総会・保護者懇談会」を開催しました。今年は約200名の方々が総会や体験講座などに参加されました。



後援会総会の様子

保護者の皆さまへ

本学では建学の精神や大学の教育方針、並びにキャリア支援などについて、保護者の皆様にご理解いただくために、毎年「後援会総会・保護者懇談会」を開催しています。

～保護者との連携を大切に～

後援会総会

保護者の皆さまにご好評をいただいておりますチャペルアワーを最初に開催しました。岐阜済美学院の高木総平宗教総主事の司会で始まり、短期大学部幼児教育学科の杉山祐子教授のパイプオルガンの演奏の下、一同で賛美歌を斉唱しました。その後、高木総平宗教総主事が『神を畏れる』と題してメッセージを送りました。

引き続き、村上慶樹後援会会長のごあいさつと新役員のご紹介があり、総会の議事に入りました。それぞれの議案について事務局から報告がなされ、熱心な審議がなされたのち後援会総会を閉会しました。後援会新役員は、次の皆さんです。1年間よろしくお祈りします。



あいさつする塩崎後援会会長

保護者懇談会

後援会総会に引き続き、グレースホールにおいて保護者懇談会を行いました。

《中部学院での夢の実現を！》と題して、古田善伯大文学長が、各部活動の活躍や看護学科2年連続の卒業生の看護師国家試験合格率100%などを紹介し「生徒を伸ばしてくれる大学」として評価されている大学の現状と教育方針などにつ

会長	塩崎勇喜人
副会長	朝倉義孝
副会長	清水公男
監事	大野博子
監事	大宮ゆかり

いて説明しました。続いて、片桐多恵子短期大学部学長が短大50周年・学院100周年の人づくりの歩みの中で地域に根ざして発展してきた本学への期待が益々高まってきていること、看護学科によるナイチンゲールの意志を継ぐ感動溢れる戴灯式の様子や本学の目指す英語教育に関すること、そして向学心旺盛な留学生の紹介をはじめ短期大学部の現状と教育方針などについて説明しました。次に、本学が誇りとして高い就職率の原動力となっているキャリア支援について、林田仁キャリア支援センター事務課長が説明しました。学部・学科別の就職決定先の紹介、1年次から4年次に至る具体的なキャリアサポートについて、スライドを用いてわかりやすく報告しました。最後に、学生を代表して浅野将大前年度学生会長が、これまでの学生生活を振り返りながら中部学院での教職員との距離が近く心

温まる雰囲気の中、部活動(硬式野球部)生活を通して心身ともに成長できたことなどを紹介し、充実した学生生活の様子とともに進路・卒業に向けての抱負を語りました。

体験講座・講義

その後、大学の授業を実際に体験していただくための「体験講座・講義」を開催しました。本年度は別記のとおり大学、短大の講座の3つの講座を設け、いずれかを受講していただきました。いずれの講座にも多くの保護者の方が聴講していただき、講師の先生の話にも一



ミニチャペルアワーの様子

段と熱が入りました。

講座終了後、ポロニーア学生食堂にて昼食をとり、午後からのプログラムである学科別説明会と個別懇談会に進みました。教育学部、経営学部、スポーツ健康科学部、短期大学部社会福祉学科(美・デザインコース)の保護者の方はスクールバスなどで各務原キャンパスへ移動し、午後のプログラムに参加していただきました。今年度は、学科別説明会に132名、個別懇談会に109名が参加され、学校生活に関すること、単位修得や就職に関することなどについて、担当の教員とじっくり面談されました。

体験講座・講義のテーマと講師

- ◆ 障害のある人のできることを作る技術や制度 看護リハビリテーション学部 井村 保教授
- ◆ 障がい者スポーツを楽しもう! スポーツ健康科学部 後藤健太助教
- ◆ 日本のお菓子を作り、味わってみよう ―和菓子をおいしい日本茶とともに― 幼児教育学科 菊池啓子教授

地区別保護者懇談会

関キャンパスや各務原キャンパスで開催した保護者懇談会に参加することができない遠方にお住まいの保護者の方々のために、毎年、地区別保護者懇談会を行っています。本年度は静岡県、岐阜市、長野県松本市、高山市において開催しました。浜松会場は6月29日、松本

入ったりされていました。

【学生数・出身地・下宿 状況】

2019年5月11日現在

大 学				
学 部	学 部		計	
	男	女	計	
学 生 数	人間福祉教育	225	162	387
	看護リハ	202	336	538
	経 営	78	8	86
	スポーツ健康科学	201	57	258
	別 科	4	5	9
	合 計	793	759	1,552

*通信教育部は含まない

出身地	出身地		計	
	男	女	計	
出身地	岐阜	969	62.4%	
	愛知	228	14.7%	
	三重	29	1.9%	
	静岡	18	1.2%	
	北海道・東北	7	0.5%	
	関東・甲信越	70	4.5%	
	北陸	64	4.1%	
	近畿	64	4.1%	
	中国・四国	25	1.6%	
	九州・沖縄	30	1.9%	
海外 (中国・ベトナム・キルギス・インドネシア・フィリピン・ネパール)	48	3.1%		

下宿状況	下宿状況		合計	
	男	女	計	
下宿状況	学生数	793	759	1,552
	自宅生	459	553	1,012
	下宿生	298	193	491
	下宿率%	37.6%	25.4%	31.6%

短期大学部

学 生 数	学 生 数		計	
	男	女	計	
学 生 数	社会福祉	21	119	140
	幼児教育	5	173	178
	合 計	26	292	318

出身地	出身地		計	
	男	女	計	
出身地	岐阜	280	88.1%	
	愛知	13	4.1%	
	関東・甲信越	4	1.3%	
海外 (中国・ベトナム・キルギス・フィリピン)	21	6.6%		

下宿状況	下宿状況		合計	
	男	女	計	
下宿状況	学生数	26	292	318
	自宅生	17	237	254
	下宿生	9	55	64
	下宿率%	34.6%	18.8%	20.1%

参加者アンケート

関キャンパス・各務原キャンパスで行われた「後援会総会・保護者懇談会」と、浜松市、松本市、高山市で行われた「地区別保護者懇談会」では、参加者アンケートを実施しました。アンケート結果は、10月5日に開催される第2回後援会役員会においてご報告します。

また、来年度の会をより良いものにするために活用します。アンケートにご協力いただきました皆様にあらためて御礼を申し上げます。

〈アンケートの中でのご意見から〉

- 学長のごあいさつに大変感激いたしました。子どもに寄り添うという指導がすべての先生方に共通し、安心して子どもも大学で勉強させて頂いているようです。目標に向かいしっかりとした社会人になれるよう頑張らせたいと思いますので、ご指導よろしくお願いします。
- 私立大学の看護学部は、学費が高つくイメージがあり、二の足をふんでしまいますが、本校はセンター利用であったり、推薦枠であったり、入学できるチャンスをしている方向から与えてもらっていて家庭的、経済的に無理かとも思っている子どもに光をあててくださっていると思います。やる気のある多くの子どもたちがこの制度を利用できることを願います。

部・クラブ・サークル紹介

今年度、課外活動で成果を上げた部・クラブ・サークルを順次紹介します。



女子バレーボール部のメンバー

ピックアップ! 女子バレーボール部



東海リーグ1部昇格をめざし、新体育館で練習に励む女子バレーボール部員

2011年4月より中部学院大学に女子バレーボール部が発足しました。発足当時は、東海大学バレーボールリーグで7部からのスタートでしたが、約7年かけて2部リーグに昇格し、東海大学バレーボールリーグ1部への昇格を目指せる位置へと近づきました。

女子バレーボール部は、部員全員で選んだ「百折不撓をモットー」にしています。「百折不撓」には、「失敗しても志をまげない」「物事が何度途中で駄目になってもあきらめない」という意味があります。チーム一丸となり、常に挑戦し続けることを大切に日々努力しています。毎日の練習では、学生一人ひとりが高いモチベーションを持ち、意識的に意欲的に質の高いトレーニングを積み、戦術、体力、精神に磨きをかけています。

近年では、バレーボール教室も行っています。スポーツに親しむ子どもたちを増やしていきたいというのがねらいです。教室では、教育学部子ども教育学科や

◆バレーボール部の目標◆

- 隣人への思いやりを大切にすること
- お互いにつながり合い、行動すること
- 自発的な行動力を養うこと

スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科の学生が中心となり、今までの自分たちの経験や授業で学んだことを生かした練習メニューを組んでいます。将来を担う子どもたちに、スポーツの楽しさ、バレーボールの奥深さを伝えられるよう努めています。

大学でのスポーツを通じて、社会に対応できる人格形成の確立、自立性のある人柄、自発的な行動力を養い、魅力ある人づくりを目指していきます。

（女子バレーボール部監督・渡辺守夫）



チーム一丸となり常に挑戦し続けることを大切にしている

空手道部

全日本学生選手権大会8名出場

空手道の全日本学生選手権大会（インカレ）は6月30日、兵庫県姫路市の市立中央体育館で行われ、春季東海地区大学選手権で好成績を挙げた8名が出場しました。形の男子個人は、同選手権優勝の谷口璃空選手（スポーツ②）/大阪・浪速高校出身、3位の渡邊尚樹選手（人間福祉①）/山梨・日本航空高校出身が、出場し、谷口選手がベスト16でした。女子個人は、同選手権で優勝した中路陽紗乃選手（スポーツ②）/兵庫・夙川学院高校出身、準優勝の三島きり選手（同①）/島根・出雲工業高校出身、3位の川上友維選手（同①）/大阪学芸高校出身。組手は男子個人が田中泰貴選手（同①）/福井工業大学福井高校出身、吉田優大選手（人間福祉①）/愛知産業大学工業高校出身、女子個人は丸山楓選手（同②）/神奈川・光明学園相模原高校出身が、出場しました。



全日本学生選手権大会に出場した空手道部員

ソフトテニス部

全日本学生に過去最多の4人出場

ソフトテニスの全日本学生選手権大会（インカレ、8月・岩手）に戸田佳南未選手（スポーツ②）/三重高校出身、野畑陽菜選手（同②）/美濃加

茂高校出身、水野日菜子選手（教育①）/県岐阜商業高校出身、若井莉紗選手（理学療法①）/岐阜総合学園高校出身が、出場しました。

剣道部

創部以来初の全国大会出場 林選手

今季、東海地区1部に昇格した剣道部。東海学生選手権大会では、林悠人選手（スポーツ②）/高

山西高校出身がベスト16に入り、全日本学生選手権（6月・大阪）に出場しました。



ゴルフ部

全国大学対校戦にアベック出場



全国大学対校戦に出場したゴルフ部のメンバーら

中部学生ゴルフ春季1部・2部大学対校戦が愛知県豊田市のセントクリークゴルフ倶楽部で行われ、男子は大会8連覇を達成し、8年連続8度目の全国大学対校戦（6月19～21日）/北海道・苫小牧ゴルフリゾート72エミナゴルフクラブ）に出場しました。女子は、中部女子学生ゴルフ春季大学対校戦（愛知さなげカントリークラブ）で2連覇を果たし、全国女子大学対校戦（男子と同じ）に出場しました。

陸上競技部

日本学生対校女子10000m競歩 前回王者の橋選手ら出場



日本学生陸上競技対校選手権の女子10000m競歩に出場した橋あぐり選手（3）と栗本真実選手（20）=岐阜市、長良川競歩場

陸上競技の日本学生対校選手権（インカレ）が9月、岐阜市の長良川競歩場で開かれ、女子10000m競歩に橋あぐり選手（スポーツ健康科学部1年）/龍谷富山高校出身と栗本真実選手（教育学部1年）/神奈川・逗子高校出身が、出場しました。同種目の連続優勝は5で止まりました。

吹奏楽部

岐阜県コンクールで8年連続の金賞

岐阜県吹奏楽コンクールで、吹奏楽部が8年連続の金賞に輝きました。全国大会出場をかけた東海吹奏楽コンクールでは、大学の部岐阜県代表として7回目の出場を果たし、銀賞でした。大学の部には、愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県から6大学が出場しました。



県吹奏楽コンクールで8年連続金賞を受賞した吹奏楽部

いきいき茨城ゆめ国体に7人が出場



【写真左から】 ●**ゴルフ成年男子** 新井隆一（スポーツ健康学科1年、福井工業大学附属福井高校出身） 服部雅也（スポーツ健康学科1年、愛知・岡崎城西高校出身） 木本大志（スポーツ健康学科1年、広島・瀬戸内高校出身） ●**ゴルフ成年女子** 円角有希（スポーツ健康科学科3年、金沢学院高校出身） ●**空手道成年男子** 谷口璃空（スポーツ健康学科2年、大阪・浪速高等学校出身） ●**空手道成年女子** 三島きり（スポーツ健康学科1年、島根・出雲工業高校出身） 国体監督 ゴルフ成年男子監督・ゴルフ成年女子監督 櫻井和男（中部学院大学ゴルフ部監督）

講演会など

各界で活躍する先生を講師に招いて講演会や講義を開催しています。シティカレッジ各務原特別講演会は公開講座として親しまれています。

現代マネジメント研究 ～第一線で活躍するリーダーから学ぶ～

全学共通 シティカレッジ各務原/関

各界のトップが経験豊富な人生観を語る

全学共通科目として、「現代マネジメント研究」(シティカレッジ各務原/シティカレッジ関は公開講座)を8回シリーズ(4月-7月)で開催しました。グローバルな視点を持つ「地域人」を育てるため、産官学協働により開講しています。地域経済の活性化に取り組み、社会の第一線で活躍している各界のリーダー 8人から、現状の課題や戦略、リーダーの心構え、豊かな人生経験などを学び、人生設計を考える機会となりました。登壇された講師の皆さんは以下の通り。

【2019年度講師】(順不同、肩書きは講演当時)

- | | |
|-----------------------------------|--|
| 宗次 徳二氏 (カレーハウスCoCo壱番屋 創業者、本学客員教授) | 若井 敦子氏 (岐阜県議会議員・本学空手道部監督) |
| 宮地 正直氏 (株式会社システム代表取締役会長執行役員 CEO) | 濱島 秀行氏 (岐阜県音楽療法士・ヴァイオリニスト) |
| 林 里栄子氏 (株式会社元林本店 代表取締役社長) | 加藤善一郎氏 (岐阜大学大学院医学系研究科小児病態学 教授・岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科構造医学 教授 専攻長) |
| 阿部 和久氏 (中日新聞 岐阜支社 支社長) | 大田可奈子氏 (岐阜芸妓組合 組合長) |



現代福祉マネジメント研究 福祉・介護分野の経営者や職員が講師

人間福祉学部

福祉分野の最新技術や経営的視点を学ぶ

今年度から「現代福祉マネジメント」が開講しました。コーディネーターは介護経営研究所代表の谷口公一氏と人間福祉学科講師の松田武美氏。福祉や介護の現場で先進的な取り組みをしている経営者や職員を講師に招きました。IoTや介護ロボット、人材育成、福祉事業マネジメントといったテーマで、最新のテクノロジーに触れたり、経営の視点から学んだりしました。また、「見学したい」という要望があり、実際の施設を見学。利用者の安全と快適さを考えた生活空間を見て、理解を深めました。



京都大学高等研究院 特別教授 松沢哲郎 本学客員教授が講演

中部学院大学公開講座

「サル学」から「ウマ学」へ

チンパンジー研究の第一人者で、京都大学霊長類研究所教授、公益財団法人日本モンキーセンター所長の松沢哲郎教授による公開講座を7月、関キャンパスで開催しました。テーマは、「『サル学』から『ウマ学』へ 人間の進化の起源をたどる」。人間とチンパンジーの比較認知科学研究を進める中で、「もっと人間の起源を探りたい」とウマの研究をスタート。サル学での個体識別のノウハウを生かし、ウマの社会で人間と同じような構図があることを発見したことなどを紹介しました。



今後の予定
可能性あり
時間は変更の

第17回 いきいき地域! たのしみん祭・大学祭(※)
(同時開催)ホームカミングデー、オープンキャンパス
●10月19日(土)9:30~19:30
●関キャンパス、関特別支援学校

第14回 学びの森フェスティバル(※)
●11月3日(日)9:00~15:00
●各務原キャンパス・学びの森

第28回 中部手話スピーチコンテスト(※)
●11月16日(土)13:00~17:00
●各務原キャンパス

プロムナードコンサート2019(※)
●12月7日(土)14:00(開場13:30)
●プリニーの文化会館(各務原市民会館)

クリスマス礼拝・祝会
●12月19日(木) ●関キャンパス

クリスマス会
●12月(未定) ●各務原キャンパス

吹奏楽部第19回定期演奏会(※)
●12月22日(日)13:30(開場13:00)
●関市文化会館

各種表彰式・卒業礼拝
●3月19日(木)10:00
●関キャンパス

卒業式(※)
●3月20日(金)10:00~11:30
●長良川国際会議場

(※)・・・保護者の方も参加していただけます。

トピックス

各学部学科や部活動では、さまざまな研究発表や課外活動を繰り広げ、積極的に活動しています。

岐阜市と福祉向上などで連携 地域の課題解決に向けて包括協定

岐阜市と連携協定を結びました。連携する分野は「地域福祉の向上」「教育・子育て支援」「健康づくり」「まちづくり・地域活性化」「人材育成」の5分野。

締結式で大学の古田善伯学長は「今後は福祉やスポーツなど幅広い分野を通しての地域活性化にも取り組みたい」、短期大学の片桐多恵子学長は「人間福祉という分野で地域貢献を支えていきたい」と話しました。柴橋市長は「幅広く課題を解決できるよう連携を深めたい」と抱負を述べました。

今後、岐阜市の芥見東小学校内に地域と学校が連携するモデル拠点を設置し、学生と児童、地域住民が地域の課題を考える活動などを行っていきます。

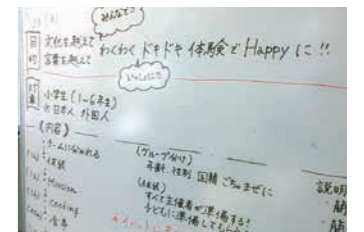


岐阜市と連携する分野

- (1) 地域福祉の向上に関すること
- (2) 教育、子育て支援に関すること
- (3) 健康づくりに関すること
- (4) まちづくり、地域の活性化に関すること
- (5) 人材育成に関すること

各務原国際協会と共同企画 10月に子どもを対象に多文化共生イベント

今年度より教育学部の新井ゼミ(専門演習I)が、各務原国際協会(KIA)と「多文化共生」イベントを共同企画することになりました。これまで学生が同協会所属のボランティアと協働し、子ども向けの国際理解イベントを企画したり、サマーカーンプに参加したりしたことから今回のコラボレーションが実現しました。10月13日に各務原キャンパスで行われるイベント「KIA HALLOWEEN」に向けてワークショップを重ねています。イベントのテーマは「文化を超えて、言葉を超えて わくわく・ドキドキ体験で Happyに!!」。小学1~6年生、外国人の子どもたちを対象に、Halloweenの仮装やスイーツ作りなどを企画しています。



ダイバーシティ SEKIシンポジウム開催

関高校と共催で、ダイバーシティ SEKIシンポジウムを6月、関市で開催しました。LGBT(同性愛者、両性愛者、性別違和の総称)について活動している関高校の有志が中心となり企画。高校生が脚本を手掛け、本学の学生が作画した紙芝居を発表し、多様な性のあり方や生き方について考える社会づくりの必要性を訴えました。



「地域クリエイター」として活躍を期待

岐阜大学COC+事業に参加し、地域に貢献できる人材育成に取り組んでいます。本学では「見る・聞く」「調整する」「活躍する」という3段階の「COC+教育プログラム」を構築。修了した学生に「地域クリエイター」の称号を授与しています。2018年度は8名の地域クリエイターが誕生し、活躍することを目指しています。





中部学院大学 大学院 / 大学 / 短期大学部
Chubu Gakuin University & College



中部学院大学
同短期大学部

[関 キャンパス] 〒501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘二丁目1番地 TEL 0575-24-2211
[各務原キャンパス] 〒504-0837 岐阜県各務原市那加甥田町30-1 TEL 058-375-3600

[大 学 院] ◆人間福祉学研究科 修士課程 博士課程(後期)

[大 学] ◆人間福祉学部 人間福祉学科(社会福祉コース/精神保健福祉コース/介護支援コース/地域貢献コース) 通信教育部 ◆教育学部
子ども教育学科(小学校・中学校教諭コース/幼稚園教諭・保育士コース) ◆看護リハビリテーション学部 理学療法学科 看護学科 ◆スポーツ
健康科学部 スポーツ健康科学科(スポーツ健康コース/障がい者スポーツコース/スポーツ経営コース) ◆経営学部 経営学科(企業マネジメント
コース/まちづくり地域人養成コース/スポーツマネジメントコース/職業会計人コース)*1

[短期大学部] ◆幼児教育学科(乳幼児保育コース/障がい児保育コース/子ども家庭支援コース) ◆社会福祉学科(介護福祉コース/美・デザイン
コース/医療事務コース)

*1 2017年4月より募集停止 ※コースは変更する場合あり